



池田湖の菜の花

CONTENTS

特集「平成を振り返って」……………	2	ご意見箱……………	12
さめしま NEWS ……………	5	さめしま広場……………	13
医療相談室……………	10	編集後記……………	15
医療安全だより……………	11		

病院理念

- 1 患者中心の医療
- 2 専門性の推進
- 3 健全な運営

基本方針

大腸肛門・消化器疾患専門病院として、患者とともにより高い診療の質をめざします。

- 1 倫理規定を遵守し、患者の権利を尊重して信頼関係に基づいた医療を行います。
- 2 常に新しい医療を安全に追及し、明るい病院づくりをめざします。
- 3 他医療機関や社会との連携を推進し、地域の健康と福祉の向上に貢献します。
- 4 職員が働きがい・やりがいを持てる職場をめざします。
- 5 将来にわたり安定した医療サービスを提供するために、健全な運営を行います。

患者の権利と責任

- 1 患者さまには、人格を尊重した思いやりのある優しい医療を受ける権利があります。
- 2 患者さまには、診断・治療・予後について十分な説明を受ける権利があります。その上で治療方針を決める権利を持っています。
- 3 患者さまには、検査の結果や治療法の説明に対して、他の医師・医療機関の意見を受ける権利（セカンドオピニオン）があります。
- 4 患者さまには、個人情報やプライバシーが保護される権利があります。
- 5 患者さまには、最適な医療を受けるためにスタッフと協力して診療に参加する責任があります。



特集

平成を振り返って

社会情勢

- 明仁皇太子が皇位継承
- 消費税スタート、税率3%
- 統一ドイツ誕生
- 雲仙普賢岳で大火砕流
- 横綱千代の富士引退
- PKO 協力法成立
- 皇太子様・雅子様結婚の儀
- Jリーグ開幕
- 水不足
- 地下鉄サリン事件
- 阪神・淡路大震災
- 「たまごっち」発売
- 臓器移植法が成立

鮫島病院の軌跡

平成

元年 高見馬場より移転10周年を迎える

元年6月3日 10周年記念式を開催
1階待合室で病院の生い立ちや各部署から10年の歩みを発表その後記念パーティが行われた



5年



5年1月 託児所ピヨピヨランド開設
寮の1階を借りし子供たち8人からのスタート
母親たちが多数職場復帰した

5年3月 医療法人潤愛会を設立

5年8月6日 鹿兒島豪雨災害で地下と1階が水没
全職員とボランティアが総力を挙げて1週間で復旧

6年2月 改修工事のため荒田の仮設病院へ移転

6年7月 改修工事が終了し現在の加治屋町へ新病院を開設



10年 (1998年)

11年 改修5周年ソフトボール大会開催
毎年霧島で行われていた四市対抗バレーボール大会では春秋優勝を果たした



2000年問題 夜勤者は緊張して臨んだが、問題なく時間が過ぎ、NHKの取材を受け電話の返答で「特に何も…」何もなくてすみませんと…

12年 腹腔鏡手術や白血球除去療法を開始

13年 給食業務委託、院内LANスタート

14年 銀杏の会 (IBD・ストーマ) スタート
医師、看護師、栄養士、事務職員がタッグを組み銀杏 (胃腸) の会として患者講習会を開催した
毎回テーマを決めて行い、現在に至っている
回によっては試食会や調理実習があることも…



14年 オストメイトトイレ新設
看護師が公共施設などを参考に設計



15年

15年 日本機能評価機構 Ver3.1認定
右も左もわからず挑戦！
認定通知を受け、全職員で喜びあう



- 長野オリンピック開幕
- ノストラダムスの大予言
- 東海村で臨界事故
- シドニーオリンピック開幕
- 三宅島が噴火全島民非難
- 二千円札を発行
- 米同時多発テロ事件9.11
- ノーベル賞W受賞
- ゆとり教育スタート
- 新型肺炎 SARS 流行
- 裁判員法が成立

アテネオリンピック開幕

冬のソナタがブーム

J R 福知山線脱線事故

宮崎県東国原知事当選

後期高齢者医療制度開始

北京オリンピック開幕

リーマン・ショック

ゲリラ豪雨が流行語

ホームレス中学生がベストセラー

ウサインボルト世界記録

審判員制度スタート

草食男子が流行語

1 Q 8 4 がベストセラー

探査機はやぶさ帰還

もしドラがベストセラー

バンクーバーオリンピック開幕

チリ地震

食べるラー油

東日本大震災

なでしこジャパン優勝

iPS細胞でノーベル賞

17年 5階フロア改修工事(寮からホールへ)・院内 PHS 導入



17年 環境保護活動チャレンジ25で始まったエコ鮫角で、白衣に加えポロシャツ、トレーナーを併用色も増えて現在も着用しています



「おしりの診察室」「続おしりの診察室」「痔ひと筋80年」を出版 患者にも人気の本で愛読者が多く、院内ベストセラーといえる



女性外来が TV 雑誌で紹介・女性医師による肛門科手術開始雑誌でも紹介

18年11月 女性にやさしい医療機関として指定

19年 日本医療機能評価 Ver.5認定 さらに力を入れて頑張り高評価を得る



20年 第1回クリスマスコンサート開催 職員とその友人4人が活躍 “アンサンブルS”の原点です



TQM 小グループ活動発表会



立体駐車場完成



21年 ペットボトルキャップ回収で表彰 世界の子供にワクチンを届けようキャンペーンで現在も貢献している

21年 第1回鮫角病院杯キッズサッカー大会開催 低学年のキッズが集合してサッカー教室も行われた



22年 外来電子カルテスタート 先生方が忙しい業務の中、独自の電子カルテを作り上げ、電子へ移行しカルテ探しもなくなった



23年2月 「四季報さめしま」祝100号 昭和61年6月27日に第1号が発行されてから100号に達した これまでの歴史がうかがえる大切な宝物

23年 車いす対応病院車購入



23年 治験開始

23年 小腸カプセル内視鏡導入

23年 ふれあい看護体験開催 第1回目は、職員の子供たちが参加 皆目を輝かせて体験していた



20年 (2008年)

東京スカイツリー竣工

長嶋氏、松井氏
国民栄誉賞W受賞

消費税8%へ

パリ同時多発テロ

熊本地震

選挙権年齢18歳へ

アイドルグループ SMAP 解散

将棋ブーム

パンダ「シャンシャン」
誕生

D トランプ氏 USA
大統領就任

👣 24年 「SHARC」 発足
マラソン大会職員25名の参加
S:sameshima H:hospital A:athletic & R:running C:club



👣 24年 5月 手術室改装



25年

👣 24年 日本医療機能評価 Ver.6認定

👣 25年 ピヨピヨランド
創立20周年記念
(現在まで94名卒園)



👣 26年 シャワー室を改装
患者アンケートでのご意見
をもとに使いやすくなった
シャワー室4部屋



👣 26年 腹腔鏡下ヘルニア手術開始

👣 27年 仙骨刺激療法 (SNM) 九州初で開始

👣 27年 かがしま子育て応援事業くるみん認定



👣 27年 9月 電子カルテ運用開始
新システムへの移行に伴いデータの事前入力や、電カル操作の練習に取り組んだ
新システム MIRAIs 運用開始当日は緊張の中、不具合なく開始することができた



👣 28年 おはら祭参加
仕事が終わってから練習
達成感が半端ない



👣 29年 2月 市民公開講座開催
初めての試み、市民の皆さんに大
勢参加していただいた

👣 29年 12月 アンサンブル S10周年記念クリスマスコンサート
有志が集まりリコーダーやピアノでの演奏
院長の落語も加わり大盛況



30年
(2018年)

👣 30年 9月 基本構想策定コンサルティングキックオフ
次の時代へ更なる進化を求めて今後の方向性が
どうあるべきかを考えながら前進中



高見馬場から移転10周年という節目の年に平成が始まった。バブルの時代にはじまりバブル崩壊を経験し、今に至っている。この30年はご覧の通り新しいことに挑戦し、改善し職員が一丸となって活動してきた歴史がたくさん詰まっている。私にとって鮫島病院の30年を漢字一文字であらわすと「進」である。「進歩」「改進」「前進」etc... 30年前、全職員が寄せた文集「10年のあゆみ」を30年ぶりに開いてみた。「(前略) 鮫島病院がこれから20年30年といつまでも歩み続けることを希望するとともに、これから私もこの病院と一緒に歩み、歴史を刻んでいきたいと思えます。」書いた本人が一番驚いているのであるが、これは私が30年前文集に寄せた一文である。まさかこんなに永く鮫島病院とともに歴史を刻ませてもらうとは思ってもいなかった。

医療情勢も時代とともに変化していく中、それに対応できる柔軟さをもって今後も鮫島病院がさらなる進化を遂げ、次の時代もすばらしい時代になることを願います。 看護部 明日育子

さめしまNEWS 1

毎号旬のトピックスや注目の情報をお届けします

ふれあい看護体験

～がんばれ小さなスタッフさん～

看護部 山村みち子

今年も恒例のふれあい看護体験を2018年8月9日(金)に行いました。

医療現場ではどのような人たちが働き、看護師はどのような仕事をしているか、体験してもらう職場体験です。

今年はどんな子どもたちが看護体験に来てくれるのだろう、出来れば医療に興味を持ち、やがては医療現場で働きたいと思ってくれば、と楽しみにしていました。

今回は、小学5年生2名の参加で、お母さまが他施設の看護師として勤務されており、自分たちもそれぞれ「医師と看護師になりたい」と目標をしっかりと持っているお子さんでした。

例年より少人数の参加でしたが、各行程にゆっくと時間をとり、医療機器にたくさん触れることができました。また、入院中の患者さまとのふれあいも、落ち着いた雰囲気で行えました。

まず看護服に着替えキャップをかぶり記念写真を撮りました。可愛らしい看護師さんの出来上がり！その後は動きやすいようポロシャツに着替え、AEDと心臓マッサージの体験をしました。「AEDは所々に設置してあるのは見たことあるけど使用方法

は知らなかった…」との感想。他にも、車椅子やストレッチャーの移動・乗車体験、患者用ベッドメイキング、聴診器を使って自分たちの呼吸音と心音も聴きました。腹部の腸雑音は聞き取れなかったようで、首をかしげて苦笑していました。

手術室体験では手術衣をまとい手術用の機器に触れたり、手術台に寝て患者側になってみたりと「テレビドラマで見た」とキラキラ目を輝かせていました。

また、内視鏡スコープを覗き込み「すごーい、きれいに見える！」と感嘆。

レントゲン室では、さすがインターネット世代、3D画像に興味を持ち、PCを使いこなし「理科室で見たことがある」と楽しそうでした。

入院患者さまのもとへ行き、検温やコミュニケーションの時間もありました。

可愛い訪問者に、入院患者さまも手術後の痛みを忘れニコニコと対応してくださいました。

二人は病院で働いている様々な職種のスタッフを見、体験を通し改めて看護師、医師になりたいという想いが強くなったと話していました。私達、先輩看護師も良い目標になれる様、日々頑張りたいと思います。



さめしまNEWS 2

毎号旬のトピックスや注目の情報をお届けします

IBD 銀杏の会

看護部 藤島恵里

10月20日、IBD 銀杏の会を開催しました。

銀杏の会とは、IBD（炎症性腸疾患：潰瘍性大腸炎、クローン病）の患者さまとその家族を対象とした会です。

今年は、ここ1～2年の間に告知を受けた10代～20代の患者さまを中心に声掛けを行い、患者さま6名、御家族4名の参加がありました。

今回は「あなたは炎症性腸疾患とどのように向き合っていますか」をテーマに、各専門スタッフが準備。まずは理事長によるIBDについての講演がありました。病態や治療について説明があり、皆さん真剣に耳を傾けていました。

次に潰瘍性大腸炎の方、クローン病の方、保護者に分かれてグループワークを行いました。各グループにスタッフが2～3名入り、質問を行い、答えてもらうといった形式で進めていきました。

告知を受けた時の気持ちは？という質問に対しては、「難病と言われて不安に思った」「周りの子と違うとショックを受けた」等の意見があり、告知当初は落ち込んでいた気持ちを話してくれました。しかしその後、悲しんでいてもしょうがないと、前向きになったという声も聞くことができました。

日常生活で変わったこと、困っていることは？という質問に対しては、「大人数の旅行は気を遣う」「旅行は時間や乗り物、料理を考えて断ってしまう」等、

まわりに気を遣っている現状について知ることができました。

治療について職場、学校は協力的ですか？という質問に対しては、「授業や実習の途中で調子が悪くなったら抜けさせてくれる」等、理解ある学校もあれば、「病気について理解していない先生もいた」「長く休んだため単位が取れなかった」という意見もありました。

進学、就職等、将来について質問した時、「就職先の理解や協力が得られるか不安に思う」という意見もありましたが、「夢に向けて資格取得を目指している」という意見や、「病院で働きたいので同じ病気の患者さんの気持ちがわかるということはプラスなこと」という意見もあり、夢に向かって努力している現状を知る事ができました。

保護者の方のグループでは、「炎症性腸疾患について初めて聞いた」といった声や、学校、就職等、将来についての不安など、子どもをもつ親としての思いを聞くことができました。患者さまだけでなく、家族の方への声掛けや気持ちの傾聴等も、今後ケアをしていく上で必要なのだと感じました。

銀杏の会では、普段聞けない話や困っている事を聞くことができ、スタッフも勉強になります。興味のある方はぜひ参加してみてください。



さめしまNEWS 3

毎号旬のトピックスや注目の情報をお届けします

避難訓練

～夜勤でもし火災が起こったら～

看護部 湯谷るみ

当院では毎年避難訓練を実施し、もしもの時に備えています。今回は夜勤帯の午前1時に火災が起きた場合を想定し、スタッフ5人（当直医1名、看護師4名）で火元確認・初期消火・通報・避難誘導まで行いました。

さて、私は今回夜勤の「リーダー」看護師Aの役です。はっきり言ってものすごく緊張しました。リーダーなので各メンバーに指示を出し、的確に仕事を割り振らないといけません。火災発生 of 報告を受け、初期消火を看護師Bと当直医に依頼し、看護師Cには施錠してある1階正面玄関の開錠を依頼、看護師Dには避難の一斉放送を指示。とマニュアルにはありますが、実際は消防署に通報するのに集中しすぎて、皆さん指示待ちの状態になり、各自気を利かせて動いてくれました。集中しただけあって消防署への通報だけはばっちりです。看護師B役の前田さんは、当直医役の前原さんと消火栓を使って消火活動を行いました。ホースは15m×2の30mで、廊下の端まで届きます。ホースの重さと水の勢いがあるため、1人はホースを持ち1人は先端を持って消火にあたります。看護師C役の和田さんは、1階の開錠と各階の明かりの点灯。看護師D役の松下さんは、一斉放送と4階患者さまの避難・誘導。初期消火に失敗したと仮定し、前原さんと前田さんは引き続き3階患者さまの避難・誘導を行います。リーダーの私は通報後、病棟師長へ電話報告し応援を依頼、持ち出し物品を集めリュックに詰めます。ちなみに物品は、病棟管理日誌・防災グッズ・検温版・懐中電灯など8品ですが、大事な管理日誌は忘れました。そうこうしているうちに全員避難完了の報告を受け、最後に職員が避難します。

おお何とか終わった、今から消防署職員の方の講評かと思い周りを見渡すと、消防署の方の姿が見えません。何と訓練が始まって早い段階で実際に火災が起き、速攻着替えて出動したそうです、全く気づきませんでした…。

実際には夜間、火災が起こっても、当院は消防署が近くにあるため6-7分で駆けつけられると聞いています。安心ではありますが、もしもの時を考えて自分で動ける患者さま（独歩）、車椅子で避難する患者さま（護送）、担架を使用しないと非難できない患者さま（担送）を把握し、避難経路を考えて、冷静に判断・指示・誘導しなければならないと思いました。もし火災や地震が起こったら、皆さんも自宅での持ち出し物品の準備、家族との連絡方法、避難場所を把握しておく事をお勧めします。



さめしまNEWS 4

毎号旬のトピックスや注目の情報をお届けします

おはら祭

看護部 井川朱里

11月2日、今年も病院職員でおはら祭に参加してきました。

南九州最大のお祭りであるおはら祭は、昭和24年に鹿児島市の市制施行60周年を記念して始まったもので、2018年で第67回目だったそうです。

仕事終わりにお腹を満たしてから髪の毛をセットしハチマキを巻いて♪全員おそろいの青いラインの入った黒の法被を羽織り、いざ会場へ。

今年は明治維新150周年記念企画として、大河ドラマ「西郷どん」から、西郷隆盛役で主演の鈴木亮平さん、大久保利通役の瑛太さんが11月3日の本まつりパレードに参加していましたが、私たちは夜まつりだったため会えず！見られず！…でしたが、鹿児島を代表する民謡の“おはら節”や、陽気なリズムの“鹿児島ハンヤ節”、ムードたっぷりの“渋谷音頭”を踊った事は、初めて参加した私にとって楽しく良い思い出になりました。友人からは、明るい色の衣装が多い中に黒い法被でかっこよかったと言われて嬉しくもなり。

まだまだ前の人を見ながら踊る部分もあったので、来年参加する機会があればもっと自信を持って踊らなくてはと思います♪見るだけでも楽しいので、ぜひ足を運んでみて下さい♪



さめしまNEWS 5

毎号旬のトピックスや注目の情報をお届けします

第11回さくらんぼ会が11/17（土）開催されました！

～オストミー（人工肛門を増設した方）・家族を対象に毎年開催しています～

外来看護師 相場照美

今年の参加人数は20名。術後晚期合併症について、医師より貴重な術中のビデオでの説明があり、看護師からは、「日常生活を振り返って」という内容で、スライドを用い話をしました。

新商品の紹介や、参加者同士・看護師を交えてのグループ懇談会も行われ、それぞれ経験を踏まえた話で盛り上がり、日常生活に生かすような収穫があった様でした。

さくらんぼ会に参加し、不安や悩みを相談してはいかがでしょうか？



さくらんぼ会に参加してみませんか！

当院では、患者のストーマ（人工肛門）に関する悩みや疑問を解消してもらえるように、年に1回、ストーマ患者講習会（さくらんぼ会）を開催しています。患者と御家族に、ストーマについての相談や商品紹介などの情報提供を行っています。

どんな会なのか、例年の内容を紹介します。

- * 医師・看護師からのお話（日常生活で困ったことや災害時の対応など）
- * オストメイト（人工肛門をもつ人々）同志の懇談会
- * ストーマ製品会社からの商品紹介 など

それぞれ日頃他人に相談できないことを気軽に話すことが出来たようで安心しました。

笑顔で「また参加します」と言って下さいます。

ストーマを造ってから年数もそれぞれで、経験も違います。

先輩からの意見も参考になると思います。

今年は初夏に開催予定です！
ぜひ参加してみませんか？



さめしまNEWS 6

毎号旬のトピックスや注目の情報をお届けします

クリスマスコンサート

看護部 永手ちとせ

12月15日、第11回クリスマスコンサートを行いました。

はじめに、当院有志で結成している「あんさんぶるS」による演奏でした。毎度同じ曲ではありますが、1年ぶりの演奏は毎回緊張します。今年は新メンバーも2名加わり、若干平均年齢も下がりました(笑)。新メンバーの二人はサクソとフルートの経験があり、吹奏楽経験者の演奏は一味違うなあと感じました。また、昨年に引き続きハンドベル演奏の「フルベール鹿見島」の方々にお越しいただきました。素敵な音色にみなさんうっとりでした。



医療相談室

相談窓口 木下正子

生活保護を受給されている患者から、後発医薬品（ジェネリック医薬品）についてご相談がありました。

その患者は、今まで服用していた先発医薬品で症状が緩和され、今後も使用を続けたいと考えておられたようです。

しかし、医師より後発医薬品（ジェネリック医薬品）への変更を説明されたとのことでした。

医療相談室では厚労省の取り決めについて、以下のようにご説明させていただきました。

医療財政の改善を目的に、国全体で後発医薬品の普及に取り組んでおり、特に平成30年10月1日から、生活保護者においては原則として後発医薬品を使用していただくことになりました。

医師が後発医薬品の使用が可能であると判断した場合に使用していただくもので単に希望があったとの理由だけでは先発医薬品の調剤はできなくなっています。

後発医薬品は先発医薬品と同じ有効成分を同じ量含むお薬であり、品質や効き目安全性に変わりはありません。

先発医薬品はもう使えないのでしょうか？とのご質問には、医師が医学的に先発医薬品の使用が必要と判断した場合は、もちろん使用できますとご説明し納得していただきました。

患者さまとスタッフが、ともに安心して治療に専念できる医療環境を目指して

医療安全だより

医療安全管理委員会 福元直美

2018年12月7・8日に長崎で行われた、日本医療マネジメント学会 第17回九州・山口連合大会に参加したのでお伝えします。

毎年行われている学会ですが、今回は演者として参加しました。演題は、「新人看護師のがん化学療法理解度調査」です。当院でも抗がん剤治療を行っています。安全に実施するために新人看護師研修を1年間行っており、テストで評価し、今後の課題を検討した内容を発表しました。

ほかにも、がん治療をはじめ幅広い分野の演題やセミナーがあり、『がん治療を目指した取り組み』～第3期がん対策推進基本計画で求められていること～を聴講しました。

日本人の高齢化に伴い、がん罹患者、死亡者は増加の一途にあり、がん対策のより一層の推進を図る為に2006年にがん対策基本法が制定されました。これに基づいて、2007年にがん対策推進基本計画が策定され、2012年の第2期がん対策推進基本計画には、がんチーム医療の推進が明記されています。聴講したセミナーでは、がん患者への実態調査によってがん患者の多くが「不安・精神的つらさ・経済的つらさは医療者に伝えていない」という現状が明らかになったこと、その結果を踏まえ、患者のために何ができるか職種ごとに検討し“がん治療サポートチーム”を立ち上げて取り組んでいること、また、それぞれの職種が専門的になりすぎないことが重要であり、お互いのコンセンサス（意見の一致）を得てチーム医療を円滑に進めているという内容でした。当院でも、がん患者に寄り添い、安全・安楽な医療を提供し、患者それぞれに合った支援を行っています。

今後も患者中心の医療を目指してスタッフ一同頑張ります。



ミニトピ

健康教室

健康教室に参加しませんか？当院では月2回、健康教室を開催しています。患者さま、ご家族の方、面会の方どなたでも参加できます。

日時 月2回
(くわしくは病院までお問い合わせください)

場所 病院5階ホール

内容

- ①健康な体はお腹から
看護師による生活指導、薬剤師による薬の話、
管理栄養士による栄養指導
- ②ためになる痔のお話
医師による大腸・肛門病の話等





看護部 湯谷るみ

当院では各階にご意見箱を設置し、患者さまや面会に来られる方の声を日々の診療や看護、設備の改善、接遇等に活かしています。今回、頂いた投書からいくつか紹介します。

感謝

こんにちは。10日程入院している者です。私が初めてお世話になったのは1人目妊娠時。あれから2人産み、今がチャンス!!と入院・手術させてもらいました。が!やはり手術となるとドキドキ!!腰部麻酔どうなるのだろう・・・もうバクバク!!しかし、オベの女性の方がそっと優しくふれてくれてとても安心♪嬉しかったです。看護師の方々もとても丁寧に接し、処置して下さい、チームワークの良さを感じました。アットホームな雰囲気も好きです(^_^)そしてもうひとつ感動したのがごはんの美味しいことです!!適時適温で届くのはもちろん、メニューに富み、調理法も様々、切り方にもすぐく工夫されていてとても勉強になりました♪(生の果物がついて、すまし汁の出汁が本物など)食生活見直します!!院長先生のお話も為になりました。おしりは唯一固体、液体、空気を判別することができる!納得でした。また鮫島潤先生の本も読みました。面白く、大腸がんの恐さ、血液検査の意味が分かりました。なんだかおしりが愛おしくなります。今度“ぢ”ではなく大腸検査でお世話になりたいです。長くなりましたがありがとうございました。

当院より

楽しく読ませてもらいました。自分も経験がありますが手術ってとっても緊張しますよね・・・。スタッフ側になると手術が滞りなく進むことに気をとられてしまいますが、患者さまの気持ちになって接していきたいと思います。

ご意見

当院より

治療室の清掃を見直して下さい。カーテンレールの金具に埃が…。

ご指摘ありがとうございます。早速掃除を行いました。今後は定期的に清掃していきます。

ご意見

当院より

1階待合での説明は小さな声でして欲しい、知らない人ばかりなので大きい声での説明はちょっと。周りに人がいる中での説明は配慮していきます。

ご意見

当院より

もうすこしこまめにベッドメイキングをしたほうが良いと思います。

定期的なシーツ交換は週1回ですが、汚れた時などはその都度交換しています。希望時はお声かけ下さい。

感謝

3週間の入院生活をさせていただいた一老人より感じたことを3つ書いてみます。

- ①掃除がとても行き届いていて、とても気持ちよく生活できました。
- ②ツンとした看護師さんも一人出会ったが、ほとんどの人は優しかった。中に俺が50年若かったら連れて帰りたい程の看護師さんに出会えた。少しホンワカした気持ちにもなれた。
- ③気さくなすばらしい医師に出会えた。きっとこんな人こそゴッドハンドと呼ばれるような人なんだろう。

当院より

出会いに感謝ありがとうございます!ますますの発展を祈ります。

連れて帰りたい看護師って誰でしょうか、気になります。ツンとしてると見られないよう、忙しくても心配りを忘れないようにしたいです。

ご意見

当院より

院長の講演とてもよかったです。意外と知らないことだらけで目からうろこでした。もっといろんな人が聞いたらいいのに、もったいない。

院長の健康教室は月1回です、開催予定日は院内に掲示してあります。興味のある方は、どなたでも聞けますのでぜひご参加下さい。

皆さま、貴重なご意見をありがとうございました。今後とも何か気付いたことがありましたら、ご意見をよろしくお願いします。

さめし

空がキャンバス

看護部 古城絢子

11月に誕生日休暇を利用して佐賀県に行ってきました。目的は、3年前に行って感動した佐賀バルーンフェスタ。10代の頃、青空の中に浮かぶカラフルな熱気球のカレンダー写真にふと目が留まり、こんな素敵な景色が日本で見れるのかと不思議な気持ちになった事を思い出し、あの頃は車の免許もなく、佐賀は果てしなく遠い場所のように感じていたけど、いい大人になった今、“佐賀？近いじゃん。車でいけるじゃん”と考え旅行を計画。

1年に1回しかないフェスタで、期間は10月31日から11月4日まで。バルーンは、取り付けたバーナーを点火し温かい空気を球皮内に送ることによる上昇と、その空気を排出させる下降のみで、水平移動は自然の風を利用するため、天候に左右されます。

天気が晴れとは確認したものの、バルーンが飛ぶのか飛ばないのか不確かな状態で4時間ほど車を走らせ、少し仮眠をし、6時に会場に到着しました。早朝の気温は低く全身にホッカイロを貼ってもガタガタと震えてしまうほど冷え込み、眠気とも闘いながら待つこと1時間。夜も明けないうちにぞくぞくと競技者が集まり、大きなワゴンの中から出されるバスケットと球皮。最初はぺったんこな球皮にバーナーと送風機で風が送られると、もこもこと膨らみ、あれよあれよという間に大きくなって、見慣れたバルーンが登場します。夜が明けた頃にはたくさんのバルーンが揃い続々とフライト。青い空に、赤や黄色や緑などカラフルなバルーンが浮かんでいきます。バルーンが浮いていく瞬間はなんとも感動的で、また空に映えるカラフルなバルーンは、まるで白いキャンバスに絵の具で描かれているような光景でした。競技フライトのあとはキャラクターのバルーンが揃うバルーンファンタジア。この日の天候は、心配に及ばずとても良好で、午後からも競技が行われ、会場に設置された棒に鍵の形をした模型をぶら下げ、それを目指してフライトしゲットする「キークラブレース」という競技も行われました。鍵を掴む高さに合わせるためのコントロールが必要で、地面す

れすれまでバルーンを近づけるパイロットの凄技に、あともうちょっと！と来場客も手に汗握るように歓声を上げ、会場一体の盛り上がりを見せました。さらに夜は夜間停留。暗闇に浮かぶバーナーの



光が音楽に合わせ点火されると、なんとも幻想的で、何枚写真を撮ったか分かりません(笑)。後に、SNSで佐賀バルーンフェスタを検索すると見事な光景を撮影している人もいて、同じ会場にいながらすごいなと関心しました。

1日中屋外にいたため多少日焼けもし、ぐったり疲れましたが、得た感動は大きく、写真を見返しては行ってよかったなと余韻に浸っています。

昔見たカレンダーがきっかけでバルーンの魅力を知ることができ、自分の記憶に感謝するとともに、行ってみたいな、出来たらいいなと思うばかりではなく、行動に移したことで生まれ、得られる感動を大事にしていこうと再確認できた旅行でした。



ま広場

スタッフからのエッセイ・お知らせなど 自由投稿のコーナー

2回目の韓国旅行

看護部 末永早苗

10月半ば、私は高校からの同級生である友人と韓国の仁川空港に現地集合し、2泊3日で韓国旅行に出かけました。私は当院の職員旅行で以前韓国に行ったことがあったのですが、友人は初めての韓国。しかも空港に現地集合というかなり無謀な挑戦をしましたが、無事合流することができ、ゲストハウスへタクシーで向かいました。友人はタクシーの中で、片言の英語に日本語を織り交ぜながらよくわからない言葉で一生懸命タクシーの運賃交渉をしており、その光景があまりにもおもしろく、必死で動画におさめました(笑)。無事にゲストハウスに着いた時はもう夜中の2時頃で、ハラハラドキドキの非日常的な体験はすごく楽しかったです。

2日目、韓国の伝統衣装であるチマチョゴリを着用して景福宮というお寺を巡り、今流行のインスタ映え写真をお互いに撮影しました。撮影した写真や動画をインスタグラムというSNSに投稿すれば、世界中の人と情報を共有でき、また新たな情報も得られるため、国内外問わず、インスタグラムの情報を参考に行き先を決めるのもおすすめです!!ぜひインスタグラムのアプリをダウンロードし活用してみてくださいね!!!2日目の夜は、サムギョブサル・トッポギ・チーズドック・チヂミ等の韓国料理を食べ歩き、日本よりも格安でお腹いっぱいになることができました。サムギョブサルのお店に入った時、隣の席にいた韓国人の女性に日本語で話しかけられました。その女性はジャニーズが大好きで、特に嵐が大好きだったようで、日本語ではありませんが(その女性がとても流暢な日本語を使っていたので。笑)現地の方と交流することもできました。その女性に、店員さんと呼ぶときの韓国語を覚えてもらったのですが…もう忘れてしまいました(笑)韓国と言えば、美容大国ですよ。私たちも、今流行の韓国コスメをあーでもないこーでもないと買いながら、夜な夜な買いあさりました。韓国の化粧品屋さん結構夜遅くまで開いているのでおすすめです!!!

最終日は朝早く起きてソウルタワーに登りました。

とても見晴らしがよく、韓国から見た世界各国の方角も示されていて、他国との位置関係が分かりやすくてとても勉強になりました。明洞まで歩いて帰り、今流行のタピオカミルクティーを飲むため、ゴンチャというタピオカミルクティー専門店へ足を運び休憩しました。日本にもあるお店なのですが、日本では通常



で1時間並ぶほどの人気ぶり。現地では1分も並ばず購入できてとてもよかったです。

帰りは広すぎる仁川空港で迷子になり、二人とも搭乗ゲートを間違え、ギリギリの搭乗。しかも私の方は、博多駅発鹿児島中央駅行きで購入しなければならなかった新幹線のチケットを、間違えて鹿児島中央駅発博多駅行きで事前購入しており、バタバタとみどりの窓口駆け込むという、私たちにハプニングだらけの旅でしたが、気心の知れた相手と旅行をするのはとてもかけがえのない時間で、一生の思い出になり、一生この友人を大事にしようと思えたひとときもありました。



		月	火	水	木	金	土	
一般外来	内科胃腸科	午前	鮫島 (由) 今村 西俣 前畠	鮫島 (由) 西俣 前畠	鮫島 (由) 今村 西俣	鮫島 (由) 西俣	鮫島 (由) 西俣 *平川	不定
		午後	鮫島 (由) 西俣 前畠	鮫島 (由) 西俣 前畠	鮫島 (由) 今村 西俣	鮫島 (由) 西俣	鮫島 (由) 西俣 *平川	
	肛門科外科	午前	鮫島 (隆) *鮫島 (加) 丹羽 江藤	鮫島 (隆) *鮫島 (加)	*鮫島 (加) 丹羽 江藤	鮫島 (隆) *鮫島 (加)	*鮫島 (加) 丹羽 江藤	不定
		午後	鮫島 (隆) 丹羽 江藤	鮫島 (隆)	鮫島 (隆) 丹羽	鮫島 (隆)	*鮫島 (加) 丹羽 江藤	

		月	火	水	木	金	土	
専門外来	禁煙	午前	*鮫島 (加)	*鮫島 (加)		*鮫島 (加)		
		午後					*鮫島 (加)	
	便秘	午前	*鮫島 (加) 今村	鮫島 (由) *鮫島 (加)	鮫島 (由) 今村	鮫島 (由) *鮫島 (加)	鮫島 (由) *鮫島 (加)	
		午後	鮫島 (由)	鮫島 (由)	鮫島 (由) 今村	鮫島 (由)	鮫島 (由) *鮫島 (加)	
	肝臓	午前						第3、瀨之上
ストーマ	午後			第2、第4				

- 緊急手術、学会出張等により、休診になることがあります。必ずご確認の上、ご来院ください。
- *印 は女性医師による外来で予約制です。 ● 肝臓・ストーマ外来は予約制です。

	午前の部 (月~土)	午後の部 (月~金)
受付時間	8:30~11:30	14:00~17:30
診療時間	8:30~12:30	14:00~18:00
休診	日曜、祝日	

予約受付 平日：9:00~17:00
TEL 099-224-2277

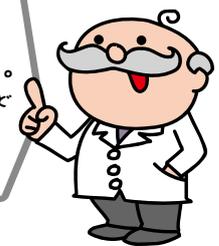
編集後記

いろいろなことがありすぎた、平成の31年間。なんとも計算しにくい入れ替わりの時代、地下鉄サリン事件や東日本大震災、米同時多発テロ、熊本地震（主人の実家は無事でした）。思い出そうとすると負の要素しか出てこないというのも悲しいものですね。

さあ！これからは新時代が始まります。TVや映画で見たような近未来な時代になるのか、怖いような楽しみなような。あと一世代の新元号を見届けるまで生きる！と決めている私でございます……。

看護部 相澤美雪

Facebookを開設しております。
『潤愛会鮫島病院』で検索できます。
病院からのお知らせやイベントなどを
お伝えしていきたいと思っております。



J R … 鹿兒島中央駅より徒歩15分、タクシー5分
市 電 … 甲東中学校前、加治屋町電停より徒歩5分
♀バス … 甲東中学校前、加治屋町、高麗橋より徒歩5分、共研公園前より徒歩7分、中央高校前より徒歩2分

●編集委員

鮫島由規則 大澤宏美 明日育子
末永早苗 湯谷るみ

●発行／広報委員会

〒892-0846 鹿兒島市加治屋町9-8
TEL 099-224-2277 FAX 099-222-0130
E-mail jim@sameshima.jp http://www.sameshima.jp/pc.html

携帯からはコチラ

